

Digital Dentistry の臨床導入と IOS Selection



片野 潤

2009 年 渡米

2011 年 原宿デンタルオフィス/原宿補綴研究所 入社

2015 年 株式会社 DIO IMPLANT start-up(出向)

2016 年 株式会社 DIODigital start-up(出向)

2018 年 株式会社モリタ入

2020 年 5 月 MDSC(MoritaDigitalSolutionCenter) Start-Up



現在、歯科機械の新三種の神器と言われている CT,マイクロスコープ,CAD/CAM ですがそこに IOS が加わる未来が過ぎそこに来ています

先生方の中にも様々な IOS が出そろい既に使用している方も多いと思います

その一方で購入後うまくスキャンできない、バイトが合わない、マージンが合わない、ラボとの連携がうまくいかない等の問題も

多くあり、まだまだアナログ印象に軍配が上がるのが現実として多いとの声を伺います

しかし、現在の口腔内スキャナは機能を理解しデジタルコンベンショナルな支台歯形成とデジタルインプレッション・ミリングの関係について知見を深めステップを守ることによって臨床使用に問題ない十分なポテンシャルを発揮することができます

そこで今回は IOS 含め現在歯科医院に混在するデジタル機器が繋がることでどのようなシナジーが生まれるか

カタログや誌面ではわかりにくい実臨床のルーティーンやデジタルワークフローをご報告させていただきます